

Press Release

令和 6（2024）年 10 月 9 日

小学生がペットボトルの水平リサイクルを題材にサーキュラーエコノミーについて学ぶ サントリーホールディングス株式会社及びサントリーパブリシティサービス株式会社が 出張授業を実施します

海南市（市長：神出 政巳）は、ENEOS 株式会社（東京都渋谷区）及びサントリーホールディングス株式会社（大阪府大阪市北区）と「海南市におけるサーキュラーエコノミーの実現に関する包括連携協定」を締結し、廃棄物を出さずに資源を循環させるサーキュラーエコノミー（循環型経済）の実現を目指しています。

この協定の取り組みの一つとして、市では、サントリーホールディングス株式会社の協力の下、使用済みペットボトルを焼却せずに新しいペットボトルを作る水平リサイクル（ボトル to ボトル）が可能となりました。この取り組みを若い世代に知ってもらい、リサイクルや資源循環について考えるきっかけを作るため、市内小学校において、サントリーホールディングス株式会社とサントリーパブリシティサービス株式会社による出張授業を実施します。

開催内容

日時：10月22日(火) 13時50分～14時35分（5限）

場所：海南市立巽小学校 ランチルーム

内容：「ペットボトルのリサイクルについて、自分ができることについて考えよう」

- ①なぜリサイクルが大切なのか
- ②リサイクルペットボトルができるまで
- ③分別をする時に注意すること など

※授業は、ワークシートへの記入形式で進行します。また、家庭でリサイクルを実践できる教材として、「おこさま BINGO-リサイクル-」を配布します。

対象：小学6年生 2クラス 66名

※テレビ撮影において配慮が必要な児童の座席表は、当日配布します。

「海南市におけるサーキュラーエコノミーの実現に関する包括連携協定」

和歌山県、和歌山市、有田市とともに SAF^{※1} の原料となる廃食油回収の実証的な取り組みを進める一環として締結したもので、本協定により、SAF 製造のほか、SAF 製造の過程で同時に得られるバイオナフサ^{※2} からのバイオペットボトル製造、使用済みペットボトルの水平リサイクルなど、廃棄物を出さずに資源を循環させるサーキュラーエコノミー（循環型経済）の実現が可能となりました。

※1 SAF・・・廃食油などを原料とした航空燃料です。従来の燃料より CO2 排出量が大幅に削減できるということで注目されています。ここ数年、日本の廃食油はこの「SAF」の製造のために海外からの需要が高まっていて、それに伴い国内市場の価格も2021年の約3倍になっています。

※2 バイオナフサ・・・再生可能なバイオマス（植物など生物由来の有機性資源）から生成された石油由来ナフサ相当の炭化水素（炭素原子と水素原子からなる化合物）です。

本件に関するメディアからの問い合わせ先

海南市くらし部環境課（担当：井村）

〒642-0002 和歌山県海南市南赤坂 11

TEL：073-483-8457 FAX：073-483-8419

E-mail: kankyo@city.kainan.lg.jp

リリース配信元

海南市総務部シティプロモーション課

〒642-8501 和歌山県海南市南赤坂 11

TEL：073-483-8408 FAX：073-482-0099

E-mail: cp@city.kainan.lg.jp